

編集部厳選!

全国のご当地スイーツ 西日本編

進化したお土産菓子や ロングセラー名品まで 一挙紹介

編集部が総力を挙げて取材する「人気のご当地スイーツ」。昨年掲載した東日本編に続いて、今回第2弾として西日本編を紹介する。ご当地菓子は、地元産の食材の利用、その土地の歴史やエピソードなどの物語が背景にあることが魅力となって消費者の心を掴んでいるようだ。

インバウンドも回復に動き出す中、日本各地の人流も増加に転じており、同時にお土産菓子需要も伸びを見せている。ここでしかないお菓子は特別感があり、改めて注目したい逸品を紹介する。(価格は全て税込)



鹿児島県 梅月堂
『ラムドラ』(3個箱入1,296円、他)

伝統和菓子を
“頑張るオトナ女子”の
ご褒美スイーツに

和洋折衷

創業は大正10年。2013年より現在の四代目社長・石原良氏が受け継いだ鹿児島の老舗。「働く女性へのご褒美、そして発明の企業文化を取り戻せるような“とんがった”和菓子」というコンセプトで、梅月堂のロングセラー商品・ぬれどら焼きを大胆にアレンジして誕生した。薄くてしっとりとした皮は職人が1枚ずつ丁寧に手焼きし、どらあんは大納言小豆のみを使用して自社で製あ



ん。そして一番のこだわりは自家製ラムレーズン。本格的なマイヤーズのダークラムを100%使用したラムレーズンが7粒ずつサンドされている。2016年の販売開始以来、想いの通り「頑張るオトナ女子」のご褒美スイーツとして人気を博している。賞味期限は20日。

●日置市東市来町湯田 3320

